

NPO 法人 地産地消を進める会

第8回通常総会 議案書

日時 2018年7月31日(火)

17:30~19:00

場所 アルヴェ 洋室A(4階)

(秋田駅東口すぐ)

終了後、駅前で懇親会を行います。

次 第

- (1) 2017年度活動報告
- (2) 2017年度会計報告
- (3) 2018年度活動計画
- (4) 2018年度予 算
- (5) 役員改選
- (6) その他

※ 総会当日はこの議案書をご持参下さい。

1. 2017 年度活動報告

昨年、設立 20 周年の記念祝賀会を終えて、活動に一区切りをつけることができました。2013 年の総会で「事業型 NPO」から「若い世代を支援し、運動を若い世代に継承する NPO」へと路線を転換しましたが、昨年度はこの方向から新しい動きがいくつも生まれました。息の長い運動を支えて下さっている会員の皆さまに感謝の気持ちを込めて、昨年度の活動をご報告します。

1. 男鹿市における「オガニック農業」が本格的にスタートしました！

「通信」46 号でご報告した「オガニック農業」ですが、2 月 5 日に「オガニック農業推進協議会」が設立され、本格的な活動がスタートしました。地産地消を進める会は事務局として、この取り組みを支えています。男鹿市には有機農家が少ないという現状を踏まえて、1 年目は土づくりと無農薬栽培の技術指導、販売先の開拓、オガニック農産物を使った加工食品の開発を柱に進めていきます。

幸い、1 年目の活動資金として農林水産省の「オーガニックビジネス実践拠点づくり事業」の補助金が取れたので、それを活用して事業を進めていきます。地産地消を進める会の皆さんにもご案内できるイベントがありますので、その都度ご案内します。

2. 男鹿・南秋・能代山本地区における「共同事業を通じた小さな仕事のネットワークづくり」と「食と農のコーディネーター」の養成の活動を続けました。

トヨタ財団の成果を踏まえて、男鹿・南秋・能代山本地区の若い世代と始めた「共同事業を通じた小さな仕事のネットワークづくり」と「食と農のコーディネーターの養成」の活動ですが、これから上記のオガニック農業にからめながら進めていきます。

3. 秋有協と連携して、食の安全を守り環境に配慮した有機農業を広める活動を行いました。

秋田県有機農業推進協議会などと連携して、「オーガニックフェスタ in あきた 2017」(8 月 26～27 日、秋田市セリオン)、「土壌診断を使った土づくりの勉強会：安全でおいしい農産物を作るために」(2 月 15 日、遊学舎)、「遺伝子組み換えの最新技術：『ゲノム編集』って何？」(3 月 7 日、秋田市役所)を開催しました。

4. 「あきた産デーフェア」を通して、地産地消に取り組む県内事業者を支援しました。

(1) 「あきた産デーフェア出展者協議会」の支援

引き続き、「あきた産デーフェア出展者協議会」の事務局として開催を支援しました。協議会方式に移行してから 11 年目になりました。協議会の会員も増加し、少しずつ若い会員が増えてきたのはうれしい出来事でした。

(2) 「地産地消普及啓発事業」の実施

例年通り、秋田駅西口で開催されている「あきた産デーフェア」の実演ブースで地産地消の食材や料理を紹介しました。6 月「男鹿産タコととろとろワカメの酢の物」、7 月「秋田県産マヨネーズの味くらべ」、9 月「ヴィシソワーズ：秋田県産ジャガイモを使った冷製スープ」、10 月「家庭で作れる揚げたてポテトチップ」でした。

5. 「持続可能な社会へのトランジション」の研究を継続しました。

一昨年からはまったプロジェクトですが、能代市にある能代松陽高校の生徒と自主ゼミ「トランジションゼミナール」を実施しました。その様子を北羽新報の「トランジションの風」で紹介しました。また、今年 6 月から常盤ときめき隊が「ときめきマルシェ」という新しい取り組みを始めました。

市民が主導する持続可能なまちづくりが少しずつ進んでいます。

6. 「地産地消の料理教室」は開催できませんでした。

他の事業に時間を取られて開催できませんでした。来年度は開催したいと思っています。

7. 会員向けに秋田県内の地産地消、有機農業やグリーンツーリズムの情報提供や交流ツアーを検討しました。

20年間の活動を通じて培ってきた関係者とのネットワークを活用して、会員限定の秋田県の地産地消、有機農業やグリーンツーリズムに関する情報提供や交流ツアーなどを開始するための議論を続けましたが、実現までには至りませんでした。地産地消の総合ポータルサイトの構築と合わせて、来年度には実施したいと思っています。

8. さまざまなメディアを通して会の主張や活動を情報発信しました。

(1) ホームページをリニューアルし、新しい情報発信を始めました。

ずっと懸案だったホームページのデザインをリニューアルしました。昔の情報はコンパクトにまとめて、新しい情報を紹介できるようにしました。少しずつ運用していきますので、時々のごいてみて下さい (<http://chisan-akita.org/>)。

また、谷口個人のホームページも更新し、朝日新聞秋田版に書いてきた16年分のコラムと北羽新報のコラムの原文をすべて読めるようにしました。よかったらご覧下さい。

朝日新聞コラム「あきたを語ろう」(その前は「あきた時評」)

<http://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/dbeco/taniguchi/news-aj.html>

北羽新報「トランジションの風」

<http://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/dbeco/taniguchi/news-tr.html>

(2) 通信を年2回発行しました。

通信45号と46号を発行しました。

9. 役員会の開催 1回の役員会を開催したほか、メールによる議論をしました。

10. 会員の状況 現在74名です。会員向けの情報提供や交流の機会を作る取り組みを来年度から始めます。

2. 2017年度会計報告

活動計算書

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

2017年6月1日から2018年5月31日まで

単位:円

科 目	特定非営利活動に関わる事業	その他の事業	合 計	備 考
I. 経常収益				
1. 受取会費	195,000	0	195,000	
2. 受取寄付金	9,184	0	9,184	
3. 事業収益	609,431	0	609,431	
(1)29年度あきた産デーフェア事務委託事業	322,500	0	322,500	
(2)30年度あきた産デーフェア事務委託事業	67,100	0	67,100	
(3)29年度あきた産デーフェア啓発事業	190,000	0	190,000	
(4)30年度あきた産デーフェア啓発事業	29,831	0	29,831	
(5)その他の事業	0	0	0	
4. その他の収益	1,101	0	1,101	
(1)雑収入	1,101	0	1,101	
経常収益計	814,716	0	814,716	0
II. 経常費用				
1. 事業費	831,219	0	831,219	
給与謝礼	395,725	0	395,725	
諸謝金	156,387	0	156,387	
法定福利費	86	0	86	
福利厚生費	0	0	0	
交際費	13,000	0	13,000	
会議会場費	22,540	0	22,540	
旅費交通費	82,215	0	82,215	
研修費	1,823	0	1,823	
通信費	45,436	0	45,436	
消耗品費	107,807	0	107,807	
外注費	6,200	0	6,200	
その他雑費	0	0	0	
2. 管理費	11,134	0	11,134	
光熱水費	0	0	0	
地代家賃	0	0	0	
諸会費	0	0	0	
支払い手数料	1,614	0	1,614	
租税公課	200	0	200	
その他雑費	9,320	0	9,320	
経常費用計	842,353		842,353	
当期経常増減額	-27,637		-27,637	
III. 経常外収益				
経常外収益計	0		0	
IV. 経常外費用				
経常外費用計	0		0	
当期正味財産増減額	-27,637		-27,637	
前期繰越正味財産額	125,914		125,914	
次期繰越正味財産額	98,277		98,277	

事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです
2017年6月1日から2018年5月31日まで

単位：円

科	目	29年度あきた 産学アソシエ ト事業	30年度あきた 産学アソシエ ト事業	29年度あきた 産学アソシエ ト事業	30年度あきた 産学アソシエ ト事業	27年度検証操 言プロジェクト	28年度秋有協 事務委託事業	管理部門	合計	備考	
I. 経常収益	1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	195,000	195,000		
	2. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	9,184	9,184		
	3. 事業収益	業務受託収入	322,500	67,100	190,000	29,831	0	0	0	609,431	
		事業収入	320,600	65,000	190,000	29,831	0	0	0	605,431	
	4. その他収益	事業収入	1,900	2,100	0	0	0	0	0	4,000	
		その他収益	0	0	0	0	0	0	1,101	1,101	
	経常収益計	322,500	67,100	190,000	29,831	0	0	205,285	814,716		
	II. 経常費用	給与謝礼	240,000	50,000	0	0	0	0	105,725	395,725	
		諸謝金	0	0	102,961	20,000	0	0	33,426	156,387	
		法定福利費	0	0	0	0	0	0	86	86	
福利厚生費		0	0	0	0	0	0	0	0		
交際費		11,000	0	0	0	0	0	2,000	13,000		
会議会場費		7,800	1,300	12,000	0	0	0	1,440	22,540		
旅費交通費		19,800	11,800	8,700	1,700	0	0	40,215	82,215		
研修費		0	0	0	0	0	0	1,823	1,823		
通信費		7,880	1,900	5,986	0	0	0	29,670	45,436		
消耗品費		0	0	60,353	8,131	0	0	39,323	107,807		
外注費		0	0	0	0	0	0	6,200	6,200		
光熱水費		0	0	0	0	0	0	0	0		
地代家賃		0	0	0	0	0	0	0	0		
諸会費		0	0	0	0	0	0	0	0		
支払い手数料		0	0	0	0	0	0	1,614	1,614		
租税公課		0	0	0	0	0	0	200	200		
その他雑費		0	0	0	0	0	0	9,320	9,320		
経常費用計	286,480	65,000	190,000	29,831	0	0	271,042	842,353			
当期経常増減額	36,020	2,100	0	0	0	0	-65,757	-27,637			

貸借対照表

2018年5月31日現在

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現 金	30,079	
普 通 預 金	182,113	
振 替 貯 金	56,254	
流動資産合計		268,446
2. 固定資産		0
固定資産合計		0
資産合計		268,446
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金 (30年度あきた産デーフェア啓発事業)	170,169	
借入金	0	
流動負債合計		170,169
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		170,169
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		125,914
当期正味財産増減額		-27,637
正味財産合計		98,277
負債及び正味財産合計		268,446

財産目録

2018年5月31日現在

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	30,079	0
普通預金		
秋田銀行 大潟支店 普通預 口座番号 No. 53066	182,112	
秋田銀行 追分支店 普通預 口座番号 No. 1027490	1	
ゆうちょ銀行 振替貯金 口座番号 No. 02570-6-6224	56,254	0
		268,446
流動資産合計		268,446
2. 固定資産		0
固定資産合計		0
資産合計		268,446
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金 (30年度あきた産デーフェア啓発事業)	170,169	
借入金	0	
流動負債合計		170,169
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		170,169
III 正味財産		98,277

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によつていま
す。

2. 事業費の内訳

別表「事業別損益の状況」の通り。

3. 前受金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
29年度あきた産デーフェア啓発事業 注(1)	190,000	0	190,000	0
30年度あきた産デーフェア啓発事業 注(2)	0	170,169	0	170,169
合計	190,000	170,169	190,000	170,169

注(1) この事業は2017年4月1日～2018年3月31日を事業期間としているが、事業が次期6月から始まるため、概算払いされた事業費のうち会費10,000円を除く金額を前受金として計上した。

注(2) この事業は2018年4月1日～2019年3月31日を事業期間としているが、事業が今期5月から始まったため、概算払いされた事業費のうち今期支出した29,831円を除く金額を前受金として計上した。

4. 共通経費の按分の基準

人件費は各事業の従事日数に応じて、通信費は実際の通信量に応じて按分している。

5. 雑収入の内訳

10月26日のあきた産デーフェアで販売した豆茶の販売手数料1,100円と利子1円である。

監 査 報 告 書

2018年6月25日

特定非営利活動法人 地産地消を進める会
代表理事 谷口 吉光 殿

秋田市東通1丁目8-34
石川昭子税理士事務所
税理士 石川 昭子



私は、平成30年6月25日、特定非営利法人 地産地消を進める会の2017年6月1日から2018年5月31日までの会計年度における財産の状況についての監査を行いました。

1. 財産の状況に関する監査

上記会計年度にかかる計算書類、すなわち、活動計算書、貸借対照表、計算書類の注記並びに付属書類、財産目録（以下「計算書類等」という。）について、担当責任者の説明を聴取しながら、元帳及びその他の帳簿と突合し、帳簿の記載内容に関しては証憑書類を調査し、必要と認められるものは実査または確認を行いました。

2. 監査の結果

計算書類等は、何れも会計帳簿の記載金額と一致し、当該会計年度末における財政状態並びに同会計年度の正味財産増減の状況と収支の状況を正しく表示しているものと認めます。


監査報告書

平成29年度事業報告書及び平成29年度決算書とこれに関する諸帳簿と証拠書類について、平成30年6月28日に監査したところ、いずれも適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

平成30年6月28日

特定非営利活動法人地産地消を進める会

監 事

藤原 絹子 

以上のおり監査の報告をいたします。

特定非営利活動法人地産地消を進める会

代表理事 谷口 吉光 様

3. 2018年度活動計画

1. 男鹿市における「オガニック農業」を推進します。
2. 男鹿・南秋・能代山本地区における「共同事業を通じた小さな仕事のネットワークづくり」と「食と農のコーディネーター」の養成の活動を続けます。

農水省事業を軸に、男鹿市に有機農業の拠点を作り、そこから若い人たちの小さな仕事を作り出す活動を続けます。

3. 秋有協と連携して、食の安全を守り環境に配慮した有機農業を広める活動を行います。

秋田県有機農業推進協議会などと連携して、「オーガニックフェスタ in あきた 2018」（8月18～19日、秋田市セリオン）、映画「百年ごはん」の自主上映会、土づくりの勉強会などを開催します。

4. 「あきた産デーフェア」を通して、地産地消に取り組む県内事業者を支援します。

- (1) 「あきた産デーフェア出展者協議会」の支援

引き続き、「あきた産デーフェア出展者協議会」の事務局として開催を支援します。

- (2) 「地産地消普及啓発事業」の実施

秋田駅西口で開催されている「あきた産デーフェア」の実演ブースで地産地消の食材や料理を紹介します。

5. 「持続可能な社会へのトランジション」の研究を継続しました。

常盤ときめき隊の活動を通じて持続可能なまちづくりの実現に取り組みます。

6. 「地産地消の料理教室」は開催できませんでした。

秋田市で開催します。

7. 会員向けに秋田県内の地産地消、有機農業やグリーンツーリズムの情報提供や交流ツアーを実施します。

20年間の活動を通じて培ってきた関係者とのネットワークを活用して、会員限定の秋田県の地産地消、有機農業やグリーンツーリズムに関する情報提供や交流ツアーを実施します。また、地産地消の総合ポータルサイトの構築をめざします。

8. さまざまなメディアを通して会の主張や活動を情報発信しました。

- (1) ホームページを通して情報発信を続けます。

- (2) 通信を年2回発行します。

4. 2018年度予算

NPO法人の会計は年度途中で助成金が決まるなど計画通りにならないことが多いため、以下の予算(案)は現時点における1年間の予算総額の見通しを示すという意味にご理解下さい。

予算書

特定非営利活動法人 地産地消を進める会

2018年6月1日から2019年5月31日まで

単位:円

科 目	特定非営利活動 に関わる事業	その他の事業	合 計	備 考
I. 経常収益				
1. 受取会費	200,000	0	200,000	
2. 受取寄付金	10,000	0	10,000	
3. 事業収益	528,069	0	528,069	
(1)30年度あきた産デーフェア事務委託事業	252,900	0	252,900	
(2)31年度あきた産デーフェア事務委託事業	65,000	0	65,000	
(3)30年度あきた産デーフェア啓発事業	170,169	0	170,169	
(4)31年度あきた産デーフェア啓発事業	40,000	0	40,000	
4. その他の事業	0	0	0	
経常収益計	738,069	0	738,069	0
II. 経常費用				
1. 事業費	707,086	0	707,086	
給与謝礼	400,000	0	400,000	
諸謝金	150,000	0	150,000	
法定福利費	86	0	86	
福利厚生費	0	0	0	
交際費	0	0	0	
会議会場費	10,000	0	10,000	
旅費交通費	50,000	0	50,000	
研修費	2,000	0	2,000	
通信費	45,000	0	45,000	
消耗品費	50,000	0	50,000	
外注費	0	0	0	
その他雑費	0	0	0	
2. 管理費	2,200	0	2,200	
光熱水費	0	0	0	
地代家賃	0	0	0	
諸会費	0	0	0	
支払い手数料	2,000	0	2,000	
租税公課	200	0	200	
その他雑費	0	0	0	
経常費用計	709,286		709,286	
当期経常増減額	28,783		28,783	
III. 経常外収益				
経常外収益計	0		0	
IV. 経常外費用				
経常外費用計	0		0	
当期正味財産増減額	28,783		28,783	
前期繰越正味財産額	98,277		98,277	
次期繰越正味財産額	127,060		127,060	

5. 役員の変更



代表理事	谷口吉光
理事	泉 牧子
	佐藤 毅
	福島智哉
監事	藤原絹子